

2026 年度入学試験問題 （第 1 回）

社 会

(30 分)

【注 意】

- ① この試験の問題文・設問は， 1 ページから 14 ページに印刷されています。
- ② 問題は **1** と **2** があります。
- ③ 解答は必ず「解答用紙」のきめられたわくの中にはっきり書きなさい。

1 環境問題，特にプラスチックごみに関する次の文章を読み，以下の問いに答えなさい。

主に石油を原料とするプラスチックはレジ袋やペットボトル，卵パックなど様々な製品に利用されている。プラスチックは安く，加工が簡単で，生活のあらゆる場面で使われているが，いったんごみになると分解されず，自然界に残ってしまう。そのため，陸や海を問わず深刻な汚染をおこしている。2019年に海に流れ出た量は2200万トンと試算され，海そのものを汚している。このまま増え続ければ，2050年には海では魚よりもごみが多くなるともいわれている。加えて，細かくなったプラスチックを魚が飲み込み，それを食べた人間にも健康被害などの影響が出るおそれがある。

プラスチックによる汚染を防ぐため，杉並区では2008年に「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する（ X ）」が制定され，2020年からは，経済産業省が中心となって，全国でレジ袋の有料化がスタートした。しかし，日本だけの取り組みでは，どうにもならないところまでプラスチック汚染は深刻化している。

国際的な取り組みでは，2025年8月5日からスイスのジュネーブでプラスチック汚染を防ぐための条約について話し合う国際会議が開催された。前回の韓国の会議では，各国の合意を得ることができなかったため，今回は先送りした8か月前の会合を受けた「延長戦」となった。各国がみんな納得できる条件を見つけられるかがポイントとなっており，関係者は「今回で合意できなければ，プラスチック汚染問題に対してあきらめるような雰囲気になりかねない」と話していた。結局，今回の会議でも条約を結ぶことはできなかった。

なぜここまで話がまとまらないのだろうか。①プラスチック汚染を防ぐ対策では，そもそもの生産量を減らすべきであるという「上流」の対策から，プラスチックごみの捨てる量を減らしたり，使用済みのプラスチックをリサイクルしたりするといった「下流」の対策もある。その中で，今回話がまとまらなかったのは，「上流」にあたる対策を盛り込むかどうかだった。環境先進国であるヨーロッパに加えて，直接的な影響を受けやすい日本などの島国は，根本的な解決のために生産規制を求めている。島国では，砂浜がプラスチックごみでおおわれ，海洋の魚や

海鳥などがプラスチックを飲み込むことで希少な海洋生物の生存が危機的な状況にある。一方で、②産油国であるサウジアラビアは生産量を規制することに強く反対している。また、大量にプラスチックを生産・消費している中国やインドも生産の規制には反対をしている。

他にも、プラスチック製品に含まれる有害な化学物質の規制や、技術が十分に整っていない発展途上国への支援などが論点となった。プラスチック生産量の具体的な削減目標を設定するなど条約に厳しいルールを盛り込めば、強力な対策となるが、参加に^{しんちょう}慎重になる国が増えることが予想され、大きな効果は期待できない。一方で、具体的な削減目標がない^{ゆる}緩いルールでは、多くの国が参加しやすくなるものの、実効性のある実質的な対策をおこなわない国が出てくる。

ヨーロッパ諸国を中心に日本やアメリカ合衆国を含めて38の先進国が参加している経済協力開発機構(OECD※)によると、各国の協力のもと強力な対策が実施されなければ、③プラスチックの生産量は2020年の約4億3500万トンから、2040年には約7億3600万トンに増加する。そのことにより、プラスチックの排出量の増加や不適切な処理などで海へ流出する量も大幅に増える見込みである。

生活に便利なプラスチックは私たちの生活のあらゆるところで使用されている。「レジ袋さえ減らせば、大丈夫」とはとても言えない我々の未来を、様々な国と協力して変えていかなければならない。

(『月刊ニュースがわかる』2025年2月号や『朝日新聞』2025年8月5日朝刊などにより作成)

※OECD…38の先進国から構成される国際組織。1980年代は24か国で組織されていたが、現在ではEU22か国に加え、南北アメリカ地域の国々やオーストラリア、日本、韓国などが加盟している。中国やインドは含まれていない。

問1 本文中の空らん(X)に入る語句を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 条例 イ 条約 ウ 法律 エ 憲法

問2 よりよい環境で生活をする権利の根拠となる日本国憲法の条文の一つには、第13条があります。条文中の空らん(Y)(Z)に入る語句を、次のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

第十三条 すべて国民は、(Y)として尊重される。生命、自由及び(Z)追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

ア 全体の奉仕者 イ 個人 ウ 利益 エ 学業
オ 幸福 カ 成年

問3 本文で説明している内容について、最も近い内容のSDGsの目標を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



問4 プラスチック汚染を防ぐための条約について話し合う国際会議では、様々な立場の国があり、話がまとまりません。生産の規制に反対している国を、次のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。

ア ドイツ イ 中国 ウ インド エ 日本 オ フランス

問5 下線部①のプラスチック汚染を防ぐ対策について、「下流」の対策にはどのような対策がありますか。本文であげられている対策を2つ答えなさい。

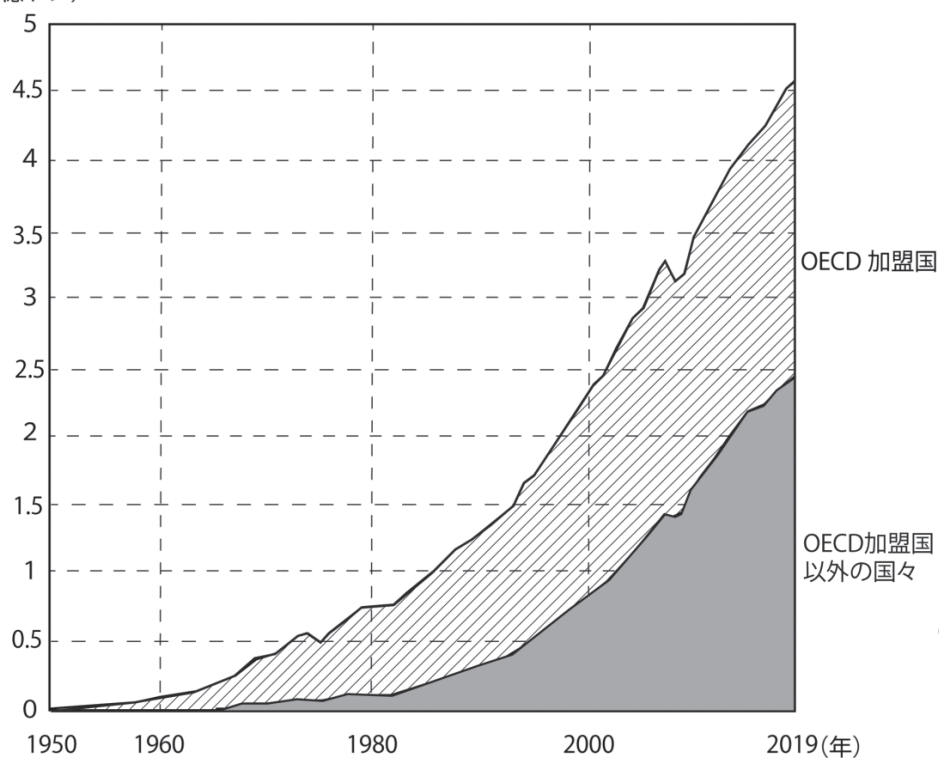
問6 下線部②の産油国であるサウジアラビアは、なぜプラスチックの生産規制に反対していますか。考えられる理由について本文を参考に説明しなさい。

問7 本文中では、国際条約のルールを厳しくしたり、緩くしたりした場合に、対策の効果が低くなるおそれについて書かれています。削減目標などを明記した厳しいルールと明記しない緩いルールでは、それぞれなぜ対策の効果が低くなると考えられますか。本文から簡潔に説明しなさい。

問8 下線部③について，[資料1]は，世界のプラスチックの生産量の変化とその内訳を示したグラフです。[資料1]から読み取れる内容として不適切なものを，次のア～エから1つ選び，記号で答えなさい。

[資料1]世界のプラスチック生産量の変化とその内訳

(億トン)

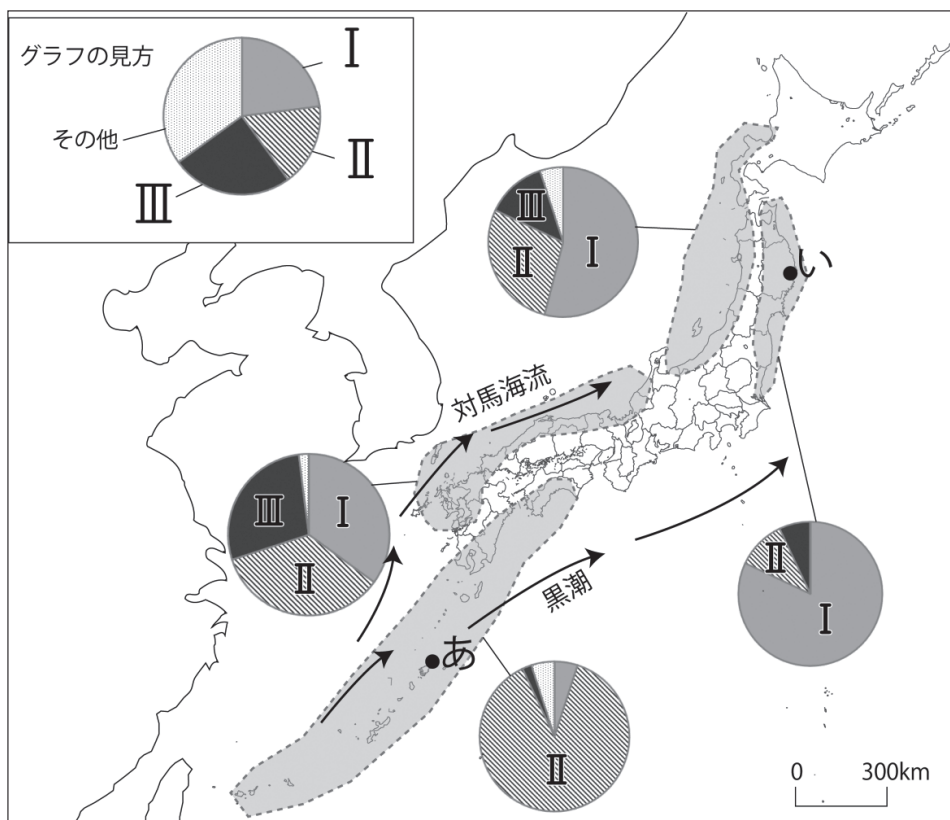


(<https://www.oecd.org/en/topics/plastics.html>により作成)

- ア 2019年のプラスチックの生産量は、1960年のプラスチックの生産量と比べると10倍以上になっている。
- イ 1980年の段階では、OECD加盟国が生産するプラスチックが世界全体の半数以上を占めている。
- ウ 2019年の段階では、OECD加盟国が生産するプラスチックよりも、それ以外の国が生産するプラスチックの方が多い。
- エ 1980年のOECD加盟国のプラスチック生産量と2000年のOECD加盟国の生産量を比較すると、2000年のOECD加盟国の生産量の方が少ない。

問9 日本に多く漂着^{ひょうちゃく}するプラスチックごみの一つであるペットボトルごみについて調べて[資料2]を得ました。[資料2]は2023年に調査された四つのエリアに漂着したペットボトルの言語表記と各言語の割合を調べたものです。以下の問いに答えなさい。

[資料2] 各エリアに漂着したペットボトルの言語表記と各言語の割合



注)・矢印(→)は海流の向きを示しています。

・円グラフは、破線部のエリア(破線部)に漂着したペットボトルの言語表記の割合を示しています。

・「その他」には、言語が判断できない(不明)ペットボトルは含まれていません。

(環境省『令和5年度漂着ごみ組成調査データ取りまとめの結果について』により作成)

A [資料2]中の「あ」と「い」は、漂着ごみの観測地点のうち二つの地点を示しています。二つの地点は何県に位置しているか、次のア～クからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 青森県 イ 岩手県 ウ 茨城県 エ 愛媛県
オ 岡山県 カ 鹿児島県 キ 高知県 ク 福島県

B [資料2]中のⅠ～Ⅲには、日本に漂着するペットボトルの言語表記のうち、多くを占めている日本語、中国語、韓国語のいずれかが入ります。[資料2]中の海流(黒潮、対馬海流)を参考にして、正しい組み合わせを次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
Ⅰ	日本語	日本語	中国語	中国語	韓国語	韓国語
Ⅱ	中国語	韓国語	日本語	韓国語	日本語	中国語
Ⅲ	韓国語	中国語	韓国語	日本語	中国語	日本語

問10 ペットボトルなどのプラスチックごみの国際的な対策が必要になっている理由について、[資料2]を参考にして説明しなさい。

このページには問題はありません。

2 今年(2026年)は、「大正」という年号が「昭和」という年号に改められた1926年から数えてちょうど100年にあたります。日本政府は今年を「昭和100年」として、様々な行事を計画していますが、かつて日本政府は、「明治百年」という、過去の歴史を記念する行事をおこなったことがありました。「明治百年」と「昭和100年」に関する、以下の問いに答えなさい。資料は読みやすくなるよう、一部表現を変えています。

問1 日本政府が「明治百年」を記念する行事をおこなったのは1968年でしたが、これは「慶応」という年号が「明治」という年号に改められた1868年から数えてちょうど100年にあたるからでした。1868年におこった出来事について説明した以下の文章の(X)(Y)に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

1868年1月から、新しい国づくりを進めようとする薩摩藩・長州藩などを中心とする新政府の軍と、旧江戸幕府を中心とする軍の間で戦いがはじまった。この戦いは(X)戦争とよばれ、1869年5月まで続いたが、この戦争中、新政府は、天皇の名で新しい政治の基本方針である(Y)を発表した。

- | | | |
|---|------|------------|
| ア | X：戊辰 | Y：王政復古の大号令 |
| イ | X：戊辰 | Y：五か条の御誓文 |
| ウ | X：西南 | Y：王政復古の大号令 |
| エ | X：西南 | Y：五か条の御誓文 |

問2 [資料1] [資料2]を読み、以下の問いに答えなさい。

[資料1] 日本政府がつくった組織「明治百年記念準備会議」が1966年に決定した、明治百年を祝う方針を書いた文章「明治百年を祝う」（一部）

明治は、世界史にも類例をみない発展の時代である。…（中略）…全国民はおどろくべき勇氣と力とをかたむけ、新しい国家の建設という目標に向かって進んだのだ。この光ある時代の出発にあたって「明治」という年号が定められてから、まさに1世紀になろうとしている。

この100年間、日本国民には、世界をはげました行いもあれば、ふりかえってたすきあやまちもないとはいえなかった。

しかしながら、この時期に昔の日本国民の作り上げたものが政治、経済、文化その他すべての面にわたってどのようにすぐれて強いものであったか。それは、このたびの戦争による大きな被害にもかかわらず世界の奇跡^{きせき}とおどろかれるまでに急速に復興^{はん}し、繁栄^{えい}している日本の現状が、何よりもはっきりと物語っている。われらは、この昔の日本国民の勇氣とかしこさと努力に対し、敬い、たたえる気持ちを持ちたい。

いま、明治百年をむかえるに当たり、日本国民が昔の日本国民から受けたこの恩に感謝し、その幸せをいっそう大きくして次の時代に引きつごうと願うのは、まことに自然である。もちろん、この願いは、たんに昔の日本国民をほめたたえ記念することで終わるものではない。

『明治百年記念行事等記録』、内閣総理大臣官房、1969年

[資料2] 内閣総理大臣・佐藤栄作の記者会見におけるコメントの要約(一部)

ことしの一番大きい政治的行事は明治百年記念事業だ。…（中略）…この百年間のすばらしい歩みは外国も認めている。物質、精神でヨーロッパに追いつき、追い越そうとただだけでなく、百年前の人たちは世界的な視点に立つてものを考え、発言した。また、百年前の人々の国家を大切に思う気持ちが強かった点にも心打たれる。

『毎日新聞』1968年1月1日朝刊

A [資料1] [資料2]をふまえて、「明治百年」を祝おうとした日本政府の人々の考えとしてふさわしいものを、次のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。

ア この100年間の日本国民の活躍^{かつやく}のなかには、外国によい影響^{えいきょう}をあたえたものもある。

イ この100年間の日本国民の活躍をふりかえり、戦争で荒れ^あはてた日本をこれから立て直していく勇気をもちたい。

ウ この100年間で日本経済は十分に発展したので、これからは自然環境を大切にしていきたい。

エ 現在の日本が栄えているのは、過去の日本国民の努力のおかげである。

オ これからの時代は、国家にとらわれず、個人が自由に生きていくのがよい。

B [資料2]の人物が内閣総理大臣をつとめたのは、1964年から1972年の間でしたが、この間におこった出来事を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 朝鮮戦争がはじまった。

イ サンフランシスコ平和条約が結ばれた。

ウ 沖縄が日本に復帰した。

エ 阪神・淡路大震災がおこった。

問3 [資料3]は、日本政府が計画した「明治百年」を受けて、日本史専門家の団体・日本史研究会が発表した文章です。[資料3]を読み、以下の問いに答えなさい。

[資料3] 「『明治百年祭』に対する日本史研究会の態度」

日本国内では産業が急速に発展したものの国民の生活は苦しく、生活の向上や、言論・思想の自由を求める運動はようしゃなく押さえつけられた。やがておこなわれたアジア侵略が、ついには大きな戦争をひきおこし、アジア各地の民衆に苦しい思いをさせ、さらに敗戦によって日本国民の多くが国の内外で苦しい生活におちいったのは、まだ人々の記憶に残っている。この事実への反省を抜きにして今までの百年を語る歴史意識は、とても考えられない。

日本史研究会『日本史研究』95号、1968年

A 下線部①に関連する以下の文章の(X)にあてはまる語を答えなさい。

明治時代の日本では、^{かいこ}蚕のまゆから(X)をつくる産業がさかんになり、その輸出力は世界一になったが、その工場では多くの女性が厳しい労働条件のもとで長時間働いた。

B 下線部②に関連する以下の文のうちあやまっているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本は石油などの資源を得るために東南アジアに軍を進めた。
- イ アジア・太平洋戦争中に、日本軍はマレー半島のイギリス軍を攻撃した。
- ウ 朝鮮人は日本軍の兵士として徴兵されることはなかった。
- エ 日本軍の占領に対し、東南アジアの人々が抵抗することがあった。

問4 「昭和100年」とされる今年(2026年)には、これまでの100年間におこった出来事が様々なテーマにもとづいてふりかえられると考えられます。1926年から現在までにおこった出来事を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 関東大震災がおこる。
- イ 第一次世界大戦がはじまる。
- ウ 足尾銅山の鉍毒被害を田中正造がうったえる。
- エ 満州事変がおこる。

以上

